

くすりのしおり

内服剤

2024年09月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ペプシドカプセル 25mg

主成分：エトポシド (Etoposide)

剤形：薄いだいたい色のカプセル剤、4号カプセル、長径 14.5mm、短径 5.3mm

シート記載など：VEPESID25mg、ペプシド 25mg



この薬の作用と効果について

細胞分裂時のDNA（デオキシリボ核酸）の分裂に関与する酵素を阻害し、がん細胞の殺細胞効果を示します。通常、肺小細胞癌、悪性リンパ腫、子宮頸癌またはがん化学療法後に増悪した卵巣癌の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。骨髄抑制、肝障害、腎障害がある。感染症、水痘にかかっている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・肺小細胞癌：通常、成人は、主成分として1日 175～200mg を5日間連続で服用し、3週間休薬することを繰り返します。
悪性リンパ腫：状態に応じてA法またはB法が選択されます。
（A法）通常、成人は、主成分として1日 175～200mg を5日間連続で服用し、3週間休薬することを繰り返します。
（B法）通常、成人は、主成分として1日 50mg を21日間連続で服用し、1～2週間休薬することを繰り返します。
- ・子宮頸癌：通常、成人は、主成分として1日 50mg を21日間連続で服用し、1～2週間休薬することを繰り返します。
- ・がん化学療法後に増悪した卵巣癌：通常、成人は1日 50mg/m²を21日間連続で服用し、1週間休薬することを繰り返します。
- ・疾患・症状により肺小細胞癌・悪性リンパ腫は適宜増減、子宮頸癌は適宜減量されます。がん化学療法後に増悪した卵巣癌は状態により適宜減量されます。本剤は1カプセル中に主成分 25mg を含有します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気づいた時に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・妊娠する可能性のある女性やパートナーが妊娠する可能性がある男性は、適切な避妊を行ってください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、貧血、脱毛、食欲不振、吐き気・嘔吐、倦怠感、口内炎、下痢、便秘などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・貧血、発熱、出血傾向 [骨髄抑制]
- ・発熱、から咳、呼吸困難 [間質性肺炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。